



2月県議会始まる

2月20日から定例議会がはじまりました。一般質問では生活保護制度の問題について取り上げたいと思っています。

安倍政権の「15ヶ月」予算では軍事費を2500億円ふやす一方で生活保護の基準を切り下げ生活保護費を671億円減らそうとしています。生活保護基準の引き下げは国民全体の生活水準にかかりません。

最低賃金は生活保護を下回らない水準に配慮すべきだとされています。生活保護の水準が下がれば賃金水準が変わらなくても生活保護基準を上回る事態が生まれ最低賃金が低いまま放置されかねません。

小中学生の給食費、教材費を支給する就学援助が受けられなくなる世帯も生じます。他の多くの社会保

生活保護制度で 質問します

障制度にも影響するものです。生活保護制度の目的をあらためて問い、県としての考えを質してゆきたいと思っています。(のり子)

えッ！内部留保の1%で789万人が月1万円賃上げ

共産党は14日、「働く皆さんへのアピール」を発表。内容は賃上げと雇用の拡大だ。

日本は97年以降14年間賃下げの連続で88%まで減り続けたが、その間欧米諸国の先進国では増え続けている資料も出した。最低賃金も異常に低く、正社員でない労働者がナント35%にまで増えた。

反面日本の大企業は溜め込み資金である内部留保がこの10年間で100兆円も上積みし260兆円(ウハウハ)。そこでアピールは、内部留保が500億円以上の741社でそのわずか1%程度を給与にまわせば、8割の企業で国内従業員789万人に月額1万円の賃上げが可能と試算。例えばトヨタは国内従業員23万人に0.2%、パナソニックは13万人に0.5%の内部留保取り崩しでこと足りる。共産党笠井亮議員の質問で安倍首相や麻生副総理も認め、財界に賃上げの「要請」をしたが、形だけでなく本気でやってほしいものだ。「共産党は大企業ばかり攻める」と言う方もいらつしやいますが、わずかに1%の活用で労働者の懐が増え、消費が増え、企業も活性化。オマケに税収も増え、さらに雇用を増やせば暮らしと経済が立て直せます。アベノミクスの「3本の矢」

おしる所

(主なもの)

- 2月22日 市駅前早朝宣伝、本会議、常任委員会
- 23日 盲学校対策、党社会保障部会議
- 24日 ウォーキングクラブ総会、産廃学習、楠見後援会総会
- 25日～28日 議案調査
- 28日 無料生活相談日

党市議会議員

南畑幸代



2011年度に県議会で「和歌山県民の歯と口腔の健康づくり条例」ができました。基本理念に「歯と口腔の健康づくりは、子どもの健やかな成長には必要不可欠のものがあり、また、糖尿病をはじめとする様々な生活習慣病の予防等県民の健康づくりに重要な役割を果たすことに鑑み、全ての県民が生涯を通じて、自ら主体的に歯と口腔の健康づくりに取り組むとともに、県内どこでも適切な時期に、必要な歯と口腔の保健医療サービスを受けることが出来るよう環境が整備されることを

子どもの医療費拡充を議会質問

基本理念として行わなければならない。」「と、県の責務、市町村への支援等を定めています。

2012年度は周知のパンフレット作成と街角歯科検診が県内2箇所(一箇所は和歌山市)で実施されました。県議会では2013年度の新規事業で、市町村への支援のため、県立保健所管内別に推進会議の開催等が提案されています。

現在県が実施している“こどもの医療費助成制度”の拡充への直接的な拡充ではないとしても、こどもの成長期に歯と口腔の健康に着目していることは嬉しいことです。私は、この条例の理念を生かして、市としても“こどもの医療費の助成制度”に歯と口腔の健康の重要性が位置づけられ、更に制度を拡充することと合わせて県に拡充を要請する事を市議会で取り上げたいと思っています。

子どもの歯と口腔の健康づくりへ

リレートーク

Relay talk



上の写真は県庁北別館の玄関ホールにある木製の議会日程(右)と議員の名札板。登庁するとランプが点きます。先日、ボランティアさせて頂いているデイサービスの利用者・職員の皆さんが議場見学に来られました。県内の団体、グループであればどなたでも見学できます。みなさまも一度いかがですか。